

### 1. 施設の概要

- (1) 名称 はなえみ
- (2) 種類 生活介護事業所
- (3) 定員 生活介護 25名、日中一時支援 4名（原則）

### 2. 利用状況（令和5年3月31日現在）

#### 【延利用者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
生活介護	419	406	404	408	410	359	420	411	406	385	398	472	4,898

#### 【支援区分別利用者数】

区分	1	2	3	4	5	6	計
生活介護	0	0	1	12	7	4	24

重度障害者支援加算対象者（強度行動障害者）：9名

#### 【年齢別】

区別	18～29		30～39		40～49		50～59		60～69		70以上		合計			平均年齢		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	男	女	計
生活介護	8	1	5	3	1	3	2	1	0	0	0	0	16	8	24	31	40	34

#### 【日中一時】（令和4年4月～令和5年3月）

区分	利用回数	利用人数
4時間未満	642回	56名
4時間以上8時間未満	0回	
8時間以上	0回	

### 3. 施設の運営

生活介護事業に関しては、特別支援学校卒業生1名が現場実習を経て利用に至っている。また、利用日数が増えた利用者もあり、4年度の平均利用者数は19.6人となった。継続して特別支援学校の現場実習の依頼があり、はなえみの環境や活動内容に興味を示される保護者が多かった。しかし、1名が1月より長期入院中であり、1名が家族の対応の難しさから毎日通所できていない状況であるため、契約者数と平均利用者数とに大きな差がある状況となっている。土曜開所日を設定し、通常活動とは異なる余暇活動を提供することで利用日数の増加を目指した。

日中一時支援事業に関しては、毎日3名程度の利用があった。はなえみ利用者の利用が最も多く、就労している保護者の出勤に合わせた利用がほとんどであった。日中活動先がはなえみ近隣の事業所を利用している方もおり、徒歩での送迎を継続した。

今年度も新型コロナウイルス感染の影響により、環境整備や事業運営、サービス提供などすべてにおいて感染対策の模索を継続した。施設運営に関しては事業別感染対策基準表に沿った対応を継続した。また、職員に対しては法人統一感染基準を基本とした感染予防の啓発と対応の協力要請を行い、利用者に対しては利用者像に応じた予防対策についての取り組みを継続した。利用者のマスク着用に関しても、見通しの持てる場面での短時間の着用を継続したことで自発的に着用を待つ姿も見られるようになっている。9月のやまびこ園における新型コロナ感染拡大を受け、入所利用者が帰省中

にはなえみを利用しその後やまびこ園に戻る際には、所内で抗原検査を実施した。また、コロナ感染状況を注視し年末年始等の連休には、利用者の行動確認を実施し保護者の了承を得たうえで通所前に看護師による抗原検査を実施した。

職員の研修に関しては、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながらウェブ研修を中心に参加した。サービス提供に関わる研修として、強度行動障害支援者養成研修（基礎・実践）や虐待防止等最低限必要と判断した研修については、集合型であっても参加した。所内研修として、昨年度に引き続き感染症の標準予防対策とし実践の場において看護師による指導を実施した。

職員の育成に関しては、支援や対応の“共有”と“根拠に基づいた支援”の重視を継続した。サービス提供記録等の情報を支援日誌に転記することで、翌日の職員朝礼で共有できる仕組みを確立した。毎月の会議は、職員会議、グループ会議、支援会議Ⅰ、支援会議Ⅱを継続することで、夕方の会議への参加が難しいパート職員に対して、各会議の内容を伝達し意見を集約することができている。

虐待防止の取り組みの一環として、「はなえみトークルーム」を継続した。トークルームでは主にパート職員に対して実施し、「気持ちを吐き出す」ことを重視した結果、行動障がいのある利用者への恐怖心や対応への戸惑いなど様々な思いが現れる場となっている。

#### (ア) 支援内容

はなえみの生活介護においては「やりがい」を感じられる活動提供と「その人らしく過ごす」時間の提供を目指した。活動は生産活動と創作活動を柱として、表情やしぐさ等から推測したニーズを基に“いきいき（缶作業）”、“わーくわーく（軽作業）”、“そうさく（創作）”の3班編成を継続した。支援するにあたって、それぞれのグループでの目標を設定した。いきいきグループでは、「自閉症スペクトラム等への支援の基礎作り（構造化・視覚化等）」、わーくわーくグループでは、「個人に応じた作業工程と作業環境の整備（細分化・個別化）」、そうさくグループでは、「唯一無二の作品づくりのための環境整備（個別化・独自性の発掘）」という目標のもと、環境設定や個別対応を実施した。どのグループにおいても、利用者1人ひとりの活動目的を確認し、特性と個性に合った提供方法を模索することを目指し続けた。そうさくグループでは県内外の作品展に出品をし、受賞する作品もあった。

毎月最終金曜日を工賃支給日「はなかふえ」を開催した。はなかふえの時間は、待ち時間のクイズタイムや映像、工賃支給、ティータイムの3部構成、理解しやすい環境づくりとなるための構造化（工賃支給の儀式化等）を継続した。

入浴サービスは希望者を対象に継続したが、やまびこ園への職員派遣があった9月は提供を停止した。入浴前の看護師によるバイタル確認を継続し、入浴時は利用者ができることは促し、できそうでできないことは援助を、難しいことに対してのみ介助を行うようにした。職員全員が同様の対応をするために入浴マニュアルを整備し、身体状況（怪我・痣）の確認のために観察を徹底し記録した。また、無断外出に備えて入浴後の衣類特徴の確認と記録を継続した。

昼食前後の自由時間において、自由な時間の過ごし方が難しい利用者に対して自立課題やタブレットでの動画鑑賞の提供を行った。

個別支援計画に関しては、正規職員で分担して作成した。モニタリングや計画の案を、会議等を利用し職員間で確認検討をした。

#### (イ) 日中活動の種類

- 「生産活動」：いきいきグループ（アルミ缶リサイクル作業）  
わーくわーくグループ（ウエス作成・敦賀繊維受託作業）
- 「創作活動」：描画、シール画、ちぎり絵、模写、線画、コラージュ等
- 「自立課題」：パズル、数字書き、なぞり書き、塗り絵、箸入れ等

#### 主な年間行事

月	行 事 名
4	花見散歩

5	法人内研修（虐待防止委員会）・サビ管実践研修（令和3年度延期分）
6	避難訓練（火災）・利用者職員春季健診・特別支援学校現場実習
7	歯科検診・特別支援学校現場実習・強行研支援者養成研修（基礎）
8	
9	メンタルヘルス研修
10	きらりアート見学（創作グループ）
11	利用者秋季健診・インフルエンザ予防接種・特別支援学校現場実習・所内研修（虐待防止）
12	特別支援学校現場実習
1	二十歳を祝う会・所内研修（虐待防止・身体拘束）・虐待防止・権利擁護研修
2	防災訓練（水害）・滋賀文教短期大学実習
3	

定期実施項目：職員会議、支援会議（Ⅰ・Ⅱ）、グループ会議、施設内点検（フロンガス点検含む）  
 工賃支給（はなかふえ）、血圧・体重測定、土曜開所（基本第三土曜日）  
 はな散歩・天候によってドライブ（毎週金曜日）・はなのものがたり（第二金曜日）  
 変則実施項目：グループミーティング、トークルーム

#### （ウ）健康管理

春季と秋季の2回定期健康診断を実施した。看護師を中心として利用者の身体状況や健康状態を把握することに努めた。毎月の血圧・体重測定を実施し、体重と血圧の変化を分かりやすく伝えるためのグラフ式記録用紙を作成し、年度末に1年分の記録を手渡した。記録用紙には確認印の欄を設けて、保護者が利用者の健康状態を確実に把握できるようにした。春季の健康診断の結果から、必要な利用者に対しては面談時に看護師から保護者への助言等を行った。歯科検診の結果から、口腔内の状況が深刻な利用者には検診結果を伝える際に受診の促しを行った。また、看護師から毎月健康だよりを発行し時季に応じて感染症や疾病等の情報を提供した。

日常的な業務としては、利用者の体調管理と体調不良時の対応、頓服服用の検討や対応、受診資料の作成と必要時の受診同行、自傷行為などにより受傷している利用者に対する処置を継続した。施設内の感染予防対策を統括し、衛生用品の管理や対策の検討を実施した。

職員に対して、感染予防の知識と技術の習得のため、感染防護具の取り扱いや着脱方法について、排泄介助時に個別で指導を行った。

項目	業務の具体的内容等
書類管理	カルテ、服薬情報提供書管理 利用開始時の情報用紙の依頼と管理 救急搬送時の連絡票の作成 新型コロナ関連健康観察表の準備と管理
健康管理	春季健診（身長・体重・血圧測定、検尿、血液検査、心電図、胸部レントゲン、聴診、問診） 秋季健診（身長・体重・血圧測定、聴診、問診） 歯科検診（1回/年） インフルエンザ予防接種 体重・血圧（毎月） 健康だよりの発行
与薬	処方内容の確認、投与後の全身状態などの報告
健康観察	入浴前のバイタル確認 通所時、日中の検温と記録 体調不良時や受傷時の処置や対応、保護者への連絡等
薬品・衛生	医務用品の管理、薬品・衛生材料等の発注及び必要物品の確保、 必要物品の購入と管理
感染予防	感染対策（コロナ・ノロ等）の周知と実施

	ノロウイルス感染症と嘔吐物処理の研修企画
受診	受診資料の作成と提出 かかりつけ医の把握

(エ) 保護者との連携

はなえみには保護者会が存在しないため、保護者全体とやりとりをすることはなかった。はなえみでの様子については日々の日誌や広報を通じて伝え、またモニタリングに利用者の活動時や日常の写真を掲載することで、より詳細な様子を伝えるようにした。

(オ) 安全・衛生管理

①避難訓練

6月に消防署立ち合いのもと、地震想定での避難訓練を実施した。訓練実施の1週間前から朝礼にて視覚的なツールを使用して「地震」「必要な姿勢」「避難」について伝達する場を設定した。「見る」「動く」形式を継続したところ、「必要な姿勢」をとることができる利用者が増えた。また、今年度は避難確保計画に基づいた水害訓練を初めて実施し、避難場所である金山保育園との情報共有や避難経路の確認を行った。今後も、より安全により迅速に避難できる仕組みを構築していくことが必要になってくる。

②施設内環境整備

建築を進めるにあたって、強度行動障害のある利用者の様々な行動に対応した構造や材質を重視したため、物損行為があるものの大きな損害に至っていない。物損の責任の所在を明確にするために、「施設設備等物損状況報告」を使用して予見不可能な行動に対しては利用者の補償を依頼した。予見可能な行動に対しては、事業所の補償を行った。

毎週金曜日を避難設備点検日とし、毎月最終営業日に危険物や避難設備等についての点検を実施した。また、3ヶ月に1度空調機器のフロンガス点検を実施した。

(カ) 地域住民やボランティアとの交流

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、地域住民やボランティアとの交流を図ることは難しかったが、アルミ缶回収が地域住民とのつながりを担っている。はなえみの認知度を高めるために、回収に協力されている方に対して、はなえみのパンフレットやお礼の品を渡した。福祉の学習の一貫として、やまびこ園から引き継いだ黒河小学校との交流は継続することができており、授業においては「障がい」や「はなえみ」について説明を行っている。

(キ) 実習生の受け入れ等

昨年度に引き続き滋賀県の短期大学からの要請により、福祉施設実習として保育士養成課程の実習生1名を2週間受け入れた。新型コロナウイルス対策として、短期大学の対策マニュアルの励行と実習開始前の抗原検査受検を依頼して受け入れた。

嶺南東特別支援学校高等部の現場実習においては、生活介護を希望する生徒3名の実習があり、うち1名が来年度から利用する予定となっている。

(ク) 苦情件数 0件

### Ⅲ. 保 育 事 業

松原保育園・木崎保育園・金山保育園の3園が足並みを揃えつつ地域の特性を活かし運営を行っている。

低年齢児の受け入れや延長保育など、社会情勢を踏まえた保護者の方のニーズに応え取り組んできた。今後も保護者が安心して預けることができる保育園に向けて、謙虚な気持ちを持って努力を続けている。

#### 1. 松原保育園

笑顔とチームワークをモットーに、コロナ禍での保育を充実に努めた。異年齢の取り組みや地域の方々との交流は、少しずつ再開させることができ、行事の見直しを図りながら、よりよい保育を目指した一年であった。

##### (1) 施設等の概要

名 称	松原保育園
定 員	120名（産後57日から就学前まで）
建物等	敷地：1,987.83㎡（無償貸与） 建物：鉄筋コンクリート造り2階建、延876.2㎡（無償譲渡）
保育理念・目標	心身ともに健やかに強く生きる力を育成する保育を行う。特に遊びの中で、「命の尊さ」を教え「やさしさ」「思いやりの心」を持ち「強く生きる力」のある子どもに育ってくれることを目標としていく
保育内容等	① 保育時間 8時間 ② 開所時間 午前7時30分～午後6時30分（11時間開所） ③ 保育内容の特色 ○延長保育の実施（午前7時～7時30分、午後6時30分～7時30分） ○看護師の配置による子どもへのケア ○子育て支援・親支援の積極的な取り組み ○食育の推進 ○保護者の半日保育士体験 ○リーディングママ（読み聞かせ） ○英語で遊ぼう（5歳児） ○行事の充実

##### (2) 入所状況（初日在籍数）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
乳児	2	2	3	4	5	7	7	7	8	10	10	11
1・2歳	31	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32
3歳	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19
4歳以上	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49
計	101	102	103	104	105	107	107	107	108	110	110	111

##### (3) 事業内容

月	事業名	内容
4月	入園式 お花見会（5歳児）神明神社] 新入園児歓迎会 子どもの日のお祝い会	新入園児親子と前年度途中入園児親子が参加 桜の花を見ながらその下でお団子を食べる 年長児が各クラスを回って、新入園児とダンスをしたり メダルのプレゼントをする 子どもの日にちなんだゲームや出し物を楽しむ
5月	ふれあい夏野菜植え 芋苗植え 春のおさんぽ遠足	夏野菜の苗を植える 鋳物師の畑を借りて芋苗を植える